

地域別検討協議会学区別検討資料(空知南学区)

空知南学区高校配置計画の見込み

区分	R 6 (2024)	R 7 (2025)	R 8 (2026)	R 9 (2027)	R 10 (2028)	R 11 (2029)	R 12 (2030)	R 13 (2031)	令和7～13 (2025～2031) 年までの 増減	令和10～13 (2028～2031) 年までの 増減
学区内中卒者数	996	1,049	1,026	998	925	970	894	827	▲ 169	▲ 171
対前年増減	▲ 102	+ 53	▲ 23	▲ 28	▲ 73	+ 45	▲ 76	▲ 67		
岩見沢市中卒者数	(578)	(579)	(598)	(585)	(524)	(553)	(503)	(477)	▲ 101	▲ 108
対前年増減	▲ 30	+ 1	+ 19	▲ 13	▲ 61	+ 29	▲ 50	▲ 26		
美唄市中卒者数	(116)	(124)	(106)	(93)	(99)	(98)	(100)	(76)	▲ 40	▲ 17
対前年増減	▲ 14	+ 8	▲ 18	▲ 13	+ 6	▲ 1	+ 2	▲ 24		
三笠市中卒者数	(45)	(46)	(46)	(32)	(45)	(34)	(37)	(39)	▲ 6	+ 7
対前年増減	+ 7	+ 1	± 0	▲ 14	+ 13	▲ 11	+ 3	+ 2		
夕張市中卒者数	(36)	(29)	(24)	(33)	(25)	(22)	(19)	(18)	▲ 18	▲ 15
対前年増減	+ 3	▲ 7	▲ 5	+ 9	▲ 8	▲ 3	▲ 3	▲ 1		
学校名	令和6(2024)年度の 学科及び募集学級数			R6 (2024) 欠員	令和7(2025) 年度	令和8(2026) 年度	令和9(2027) 年度の見通し	令和10(2028)～13(2031)年度までの見通し		摘要
	普通	職業	計							
岩見沢東	5→4		4	11	普▲4		0～1学級 に相当する 中卒者の減	4年間で4～5学級に相当する中 卒者の減	月形、夕張の協力校 R6(2024)第2次募集後学級減 R6(2024)第2次募集後学級減 岩見沢西高校校舎を使用 再編整備留保 再編整備留保	
単 岩見沢西	3→2		2	15	普▲2					
新設校					普+6 単位制導入 普通科新学科設置					
岩見沢農業		農 7	7	80						
*岩見沢緑陵	3	商 2	5	22	普+1					
総 美唄尚栄	2		2	29						
美唄聖華		看 2	2	37						
*三 笠		家 1	1	0						
地 月 形	1		1	24						
地 夕 張	1		1	14						
長 沼	2		2	36						
栗 山	2		2	31						
11校	19 →17	12	29	299	普▲6 普+7					

注1 学科種別の「普通」には、普通科のほか、総合学科、理数、外国語、体育等の専門学科を含む。

注2 学校名の「単」は単位制、「総」は総合学科、「フ」はフィールド制、「中高」は連携型中高一貫教育校、「地」は地域連携校。

注3 学校名の*は市町村立学校。

注4 令和6(2024)年度募集学級数の「→」表示は、第2次募集後の学級減を実施したことを示す。

注5 新設校(岩見沢市内)の学科は、普通科新学科2学級、普通科4学級を設置する。(新学科の名称は引き続き検討)

学区の検討事項と現状・課題

学区の検討事項	現状・課題
○中卒者数の増減に対応しながら、多様な学習ニーズに応える高校配置の在り方	<ul style="list-style-type: none"> 令和9(2027)年度の定員調整等の検討に当たっては、28人の中卒者数の減のほか、市町ごとの中卒者数の状況なども考慮した検討が必要 令和10(2028)年以降については、令和13(2031)年までに学区全体で171人の中卒者数の減が見込まれ、特に令和11(2029)年を除き、大幅な減少が見込まれることから、欠員の状況やこれまでの定員調整の状況などを考慮し、配置の在り方の検討が必要 欠員が40人以上生じている学校について、定員を含む学科構成の在り方について検討が必要
○地域の取組を勘案した特例的取扱い	<ul style="list-style-type: none"> 再編整備留保校について、集中取組期間を設け、道教委が所在市町村をはじめとした地域と連携し、高校の特色化・魅力化を進め、入学者確保に取り組むことが必要